

6 医療機関相互の役割分担と広域連携の推進 (地域センター病院の機能の充実)

(1) 現状

- 根室圏域にはプライマリ・ケアを支援する二次医療機関として、市立根室病院（平成元年）と町立中標津病院（昭和45年）が地域センター病院に指定されており、根室市と北部4町の中核医療機関として他の医療機関と機能分担を図り、地域に必要な診療体制を確保するとともに、医師等を対象とした研修会を開催しています。
- また、両院ともに地域の医療機関との連携を図るための組織を設置・運営しています。
- 地域センター病院の機能として、地域の医療機関等への医師派遣等がありますが、根室圏域の地域センター病院では、医師不足から医師派遣等を実施できていない状況が続いています。
- 根室圏域では、地域センター病院において、高額なMRIやCT等の医療器械を整備し、地域の医療機関の依頼に応じて検査を実施するなど、連携に努めています。

(2) 課題

- 医師不足から医師派遣等を実施していませんが、地域の医療機関が抱える専門技術不足や医師不足などを補うため、その医療機能及び地域医療支援機能の維持・充実が求められています。
- 北海道地域医療構想の実現に向け、地域における医療提供体制の整備を図っていくためには、中核的医療機関である地域センター病院の役割がこれまで以上に重要となります。

(3) 施策の方向と主な施策

- 施設設備整備等の補助事業を活用するなど、医療機能及び地域医療支援機能の充実を図るとともに、地域医療構想の実現に向けた取組を促進します。
- 地域の医療機関も参加できる研修会の開催や地域医療構想の実現に向けた啓発活動等を実施します。
- 医療機器の共同利用を促進します。